

# SEMINAR HOUSE NEWS NO.192

 大学セミナーハウス  
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE

公益財団法人大学セミナーハウス

192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1

電話：042-676-8511 / FAX：042-676-1220

ホームページ：https://iush.jp/

セミナーハウス・ニュース No.192 / 2017年7月20日発行

## 新理事長就任挨拶

思想は高潔に、生活は簡素に  
Plain Living and High Thinking

## 建築の魅力

ル・コルビュジエ、吉阪隆正、大学セミナーハウス

### 広報より

FANBOOK発行

Dining Hall-やまゆり

留学生会館入居者募集



### 宿泊業務報告

宿泊実績などを掲載

### 千人会通信

千人会会員の皆様からの声をお届け

### セミナー事業

2017年度主催セミナーの開催予定

### 法人ニュース

理事会・評議員会報告

# 理事長就任挨拶

理事長 荻上 紘一

この度、理事長を拝命致しましたが、これは私にとって全く想定外の出来事でした。私は2004年から2013年まで館長を務め、その後4年間理事を務めたことにより、「所定の課程」を修了して「卒業証書」を頂くはずでしたが、卒業判定の結果「留年」を命じられることになりました。

大学セミナーハウスは、「思想は高潔に、生活は簡素に(Plain Living and High Thinking)」を理念として、1965年に開館しました。「思想は高潔に(High Thinking)」は古今東西を通じて全ての人に期待される、即ち「不易」であるのに対して、「生活は簡素に(Plain Living)」の内容は時代と共に変化する、即ち「流行」であると思います。

昔は、宿泊研修施設が少なかったために、供給側が優位にありましたが、やがてあちこちに同種の施設が新設され、前世紀末頃から立場が逆転し、利用者が施設を選ぶ時代になりました。その様な中で、セミナーハウスの提供する「Plain Living」が40年間変化しなかったために、特に女子学生達から敬遠されてしまいました。

私自身も現役教員の時には、学生の研修等で毎年セミナーハウスを「利用させて頂き」ました。その頃のセミナーハウスは、開館当時のままの「Plain Living」に加えて、「サービス」という概念はなかったようです。

2004年当時と比べると、留学生会館、さくら館、多目的広場、新食堂棟「やまゆり」等が新設され、既存の施設も改修されるなどハード面の充実が図られ、時代に即した「Plain Living」が提供出来るようになりました。一方、ソフト面においても、利用者のニーズにきめ細かく応える「サービス」の提供が定着してきたと思います。

約7ヘクタールの緑豊かな敷地に建つ大学セミナーハウスは、森林浴をしながら寝食を共にして「High Thinking」を実践出来る場です。多くの皆様に「自分達の宿泊研修施設」として気軽に利用して頂き、「来年も利用したい」といって頂けるセミナーハウスを目指して尽力したいと思います。



## 建築の魅力 ～ル・コルビュジエ、吉阪隆正、大学セミナーハウス～



大学セミナーハウス 館長 鈴木康司

ル・コルビュジエといえば、主にフランスで活躍した、近代建築の世界的巨匠として知られます。彼の作品、上野の国立近代美術館が世界文化遺産に指定されたことは記憶に新しい出来事ですが、彼のもとで修業した日本の有名建築家が二人います。一人は東京文化会館や都美術館を設計した前川国男、もう一人が敗戦後第一回のフランス政府給費留学生として渡仏した吉阪隆正です。

前者は丹下健三をはじめ何人もの後継者を育て、建築文化に多大な貢献をしたのですが、吉阪隆正もこれに劣らず日本の建築界に大きな遺産を残しました。その一つが八王子市にあるこの大学セミナーハウスで、楔形の本館はじめ様々のユニークな形の建築物が並び、周りの自然に溶け合っ  
て見事な景観を作り上げています。

1965年に開館したセミナーハウスもすでに50有余年、数多くの教育関係者や企業のご協力で連綿と続いています。今年、八王子市最初の東京都歴史的建造物に選定されたことを誇りに思います。



2017年3月  
東京都選定歴史的建造物に選定



2017年5月  
ドコモジャパン 選定プレートの贈呈式



2017年5月  
ドコモジャパン 選定プレート 記念撮影

### コラム

創立の理念のもとこれを表現した建造物と事業が脈々と受け継がれ、2015年に開館50周年を迎えた大学セミナーハウスは、世界的な建築家であるル・コルビュジエの教えを受けた吉阪隆正の設計です。ことに、「大地に知の楔(くさび)」をコンセプトとした本館は、建築としての評価も高く、1999年に「日本におけるモダン・ムーブメントの建築No.019」として、DOCOMOMO Japanより選定されました。さらに50年という歴史的価値も加わり、2017年3月には「東京都選定歴史的建造物」にも選定されています。

大学で建築を学ぶ方々の研究対象としてはもとより、映画撮影等のロケーション、関心を寄せてくださる近隣の皆様にご見学をいただくことも増えました。



## 会費をありがとうございました

2016年12月～2017年6月 (敬称略)

12月

甲斐 隆 (ご逝去により退会)、有山正孝、生山智己、松本幸一、岡崎 正  
横沼健雄、稲持教昭、澤 孝一郎、森 久、後藤敏明、青柳総太郎、堀井啓幸  
滝口 亨、沖塩莊一郎、小谷正博、白井克彦、中野斉子

- 1月 大澤恵美子、鈴木 皇、川崎正三、上田明子、新井 明、北原文雄、出光直樹、川端香男里、柳澤富雄、松山正男、並木信一、柳父圀近、海老沢信一
- 2月 池井 優、秋間 実、三浦安子、佐藤 光、小場瀬令二、蓮見音彦、風間邦光、泉 敏彦、肥前榮一、高松正昭、石川道夫
- 3月 小林一彦、宮腰 賢、新保清子、磯 直道、絹川正吉、平野由紀子、島海保子、柴田泰比古、島田治夫、山田 暉、松田信男
- 4月 松澤通生、勝見允行、中村妙子、海老根 宏、小場瀬純子、太田正孝、滝口俊子、金子六郎
- 5月 加藤晴久、犬塚 博、柏原啓一、澤島侑子、芳賀 徹、荒井 献、椿 弘次、朝野洋一
- 6月 安宅光雄、木村建一、中村 幸安、小倉 充夫、石川 達雄

## 会員からのメッセージ

(敬称略)

〇50周年記念誌ありがとうございます。ますますの御発展をお祈りいたします。今年もなんとか誕生日を迎えることが出来、感謝しております。**横沼健雄**

〇開館50周年記念会ご苦労様でした。大学セミナーハウスのますますのご活躍を祈念しております。**稲持教昭**

〇今年限りで終了させていただきます。**澤 孝一郎**

〇1年に1度、大学セミナーハウスに宿泊することを楽しみにしております。今年も3月に参ります。**森 久**

〇50周年の式典にお招きいただき、八王子の丘を再訪することができました。ありがとうございます。益々のご発展をお祈り申し上げます。**青柳総太郎**

〇50周年記念誌をありがとうございました。あの頃(帝京大学教職の口会でお世話になっていた頃)を思い出しました。大学セミナーハウスのさらなるご発展を楽しみにしています。**堀井啓幸**

〇永らくお世話になりましたが、今年をもちまして千人会を退会させていただきます。よろしくお祈りいたします。**滝口 亨**

〇50周年記念誌をお送りいただき、ありがとうございました。ますますの御発展を祈念します。**小谷正博**

〇豊かな自然の中で学べる幸せを、いつもありがとうございます。**中野斉子**

〇たゆまぬ地道な活動が50周年につながったのでしょう。更なる50年に向けて、御活躍を期待しております。**川崎正三**

〇50周年おめでとうございます。**上田明子**

〇97歳となりました。なんとか年なりに老人ホームで元気に過ごしております。**北原文雄**

〇50周年おめでとうございます。51年目に向かってさらに御発展をお祈り致します。**松山正男**(神奈川大学名誉教授)

〇新しい半世紀も、社会の未来を担う、学生、青年の成長に貢献し得る場としてあり続けることを願っています。**並木信一**

〇よろしくお祈り致します。**柳父圀近**

〇セミナーハウス50周年おめでとうございます。今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。**海老沢信一**(山梨学院大学)

〇89歳になりました。足元が不確かになり「遠出」がむずかしくなって大学セミナーハウスへは伺えそうになく、残念ですが、ご活動のいっそうの発展を願っています。**秋間 実**

〇いま、世界は「〇〇ファースト」という言葉がはやっていますが、大学セミナーハウスの意義(人間同士の交わり、そして平和)がいよいよ重くなってまいりますね。**三浦安子**

※退会をお申し出いただいた場合でも、長い間のご支援に深く感謝し、お許しいただければニュース、記念会のご案内などをお送りさせていただきます。ご不要の場合はお手数ですが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

〇開館50周年おめでとうございます。また是非うかがいたいものです。**佐藤 光**

〇開館50周年おめでとうございます。学生時代に他大学の学生と意見交換した経験は、その後の人生の色々な場面で役立ったと感じています。**泉 敏彦**

〇今回はAクラスとさせていただきます。**肥前榮一**

〇めでたく(?)後期高齢者になりました。心身ともに劣化していく現実を醒めた目で見ています。人はいつか死にゆくものですから…。50年前、大学院の学生として、セミナーハウスで合宿した頃の思い出は大切な宝です。セミナーハウスのますますのご発展のほど祈り上げます。**高松正昭**

〇この春で勤務先を退職します。**石川道夫**

〇今回千人会として1万円、50周年として自分も嬉しい思いでいっぱいなので遅れましたが、3万円。学問の府・真理探究の場、ますます人間のあり方、社会のあり方が問われている時代と思っています。**小林一彦**

〇ご案内ありがとうございました。今年も誕生日が迎えられました。(3月3日)**宮腰 賢**

〇これからも大学生教職員に用いられますようお祈り申し上げます。**島田治夫**

〇50周年おめでとうございます。**海老根 宏**

〇50年前からセミナーハウスで先生方との出会いから学び続けることの大切さを今も感じています。健康で古希を迎えられたことをありがたいと思っています。健康寿命のために毎日歩くことを心掛けています。セミナーハウスの更なる発展を祈っています。**太田正孝**

〇セミナーハウスも50年をこえて益々元気で発展しておられ、おめでとうございます。私も92才をむかえ何とか元気で暮らしております。お世話になった学生もセミナーハウスのことを忘れずになつかしっております。**金子六郎**

〇50周年記念式典にて想いを新たにしました。益々のご発展をお祈りします。**犬塚 博**

〇満88才の誕生日を何とか迎えられました。発足当時からセミナーハウスの発展を祈っています。**澤島侑子**

〇1960年代末の大学紛争中、東大大学院比較文学比較文化課程は、研究室、教室が封鎖されても、できたばかりのセミナーハウスをお借りして授業や研究会をつづけておりました。紛争中も研究・教育活動を中断しなかったのは駒場のわれらの研究室だけだったのではないのでしょうか。当時を思い起こしてあらためて御祝申し上げます。**芳賀 徹**

### 千人会の皆様へ

～「大地に知の楔を」大学セミナーハウスの建築と理念が目目されている昨今です。ふだんだったら会えないような人と会い、心を通わせて、話し合ったり考え事をしたりする場所と時間…。50年以上続いている不思議な形の建築物と自然が織りなす、非日常の空間と時間をこれからも多くの方に経験していただけたらと思います。～



## 第22回理事会報告(平成28年度第3回)

1. 平成29年度事業計画承認
2. 平成29年度収支予算承認
3. 規程・規則の名称変更並びに改正承認

平成29年3月6日開催

第22回(平成28年度第3回)理事会が、平成29年3月6日(月)午後4時30分から6時30分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事7名(理事総数11名)監事1名の出席のもと開催され、全議案滞りなく承認された。

### 1. 平成29年度事業計画について

最重要課題は第一に財政基盤の強化、第二にステークホルダーの構造変化による利用者の拡大である。平成29年度事業計画では、これらの課題を解決するために次の6項目を策定した。

- (1) 宿泊利用者拡大施策の展開
- (2) セミナー事業の充実
- (3) 留学生支援事業の継続・充実
- (4) 広報活動の強化と連携・協力体制の構築
- (5) 財政の健全化
- (6) 法人としての基盤整備

### 2. 平成29年度収支予算書

上記の事業計画を反映させて編成した平成29年度予算について承認した。

#### 平成29年度 収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで 単位：千円

科目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1	1	0
特定資産運用益	5	5	0
事業収益	205,593	197,881	6,451
受取補助金等収益	200	0	200
受取会費・寄附金収益	32,650	38,016	△ 6,416
雑収益	40	39	1
経常収益計	238,489	235,942	236
(2) 経常費用			
事業費	253,215	245,238	10,278
管理費	14,474	15,561	△ 1,087
経常費用計	267,689	260,799	9,191
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 29,200	△ 24,857	△ 8,955
当期経常増減額			
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 29,200	△ 24,857	△ 8,955
一般正味財産期首残高	853,185	878,042	△ 24,857
一般正味財産期末残高	823,985	853,185	△ 34,812
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	0	0
一般正味財産へ振替額	0	2,696	△ 2,696
当期指定正味財産増減額	0	△ 2,696	2,696
指定正味財産期首残高	0	2,110	△ 2,110
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	823,985	853,185	△ 33,812

### 3. 規程・規則の名称変更並びに改正について

最新の労働基準法をはじめとしたさまざまな法令に準拠した内容に改正し、「財団法人大学セミナーハウス就業規則」を「公益財団法人大学セミナーハウス就業規則」へ名称変更並びに改正、「財団法人大学セミナーハウス給与規定」を「公益財団法人大学セミナーハウス賃金規程」へ名称変更並びに改正、「財団法人大学セミナーハウス退職金規程」を「公益財団法人大学セミナーハウス退職金規程」へ名称変更並びに改正を承認した。

## 第23回理事会報告(平成29年度第1回)

1. 平成28年度事業報告承認
2. 平成28年度決算書承認
3. 平成29年度年会費の減額申請承認
4. 平成29年度第1回評議員会の日程承認

平成29年5月24日開催

第23回(平成29年度第1回)理事会が、平成29年5月24日(月)午後4時30分から6時30分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事8名(理事総数11名)の出席のもと開催され、全議案滞りなく承認された。

### 1. 平成28年度事業報告について

平成28年度は、

- (1) 開館50周年記念事業の実施
  - (2) セミナー事業の充実
  - (3) 宿泊事業支援事業の新たな展開と宿泊利用者拡大施策の展開
  - (4) 留学生支援事業の充実
  - (5) 広報活動の強化などの法人に関する事業の強化
  - (6) その他法人に関する事項
- 等を基本方針として事業活動を進めてきた。

特に財政基盤の強化が最重要課題であるが、会員数の減少傾向、宿泊利用者数の伸び悩み、施設老朽化による修繕費の増加などにより経営状況はマイナスのスパイラルに陥ろうとしている。

開館から50年以上を経て、施設の老朽化への対応、新たな宿泊利用者の獲得、セミナー事業の見直しなどが求められ、固定客依存型の宿泊支援事業、会費依存型の経営からの脱却が喫緊かつ最大の課題となっている。この課題の解決が、当法人の収益構造を健全化し、財政基盤の強化を実現することになるものと思われる。

財政基盤の基礎となる会費基準の改正については、一昨年11月の理事会において承認され、平成28年度から適用されている。この改正は、会費額算定の基準を変更するとともに会費額に上限を設けることで会員間の格差を縮小し、会費の減額を理事会決定事項にすることで透明性を担保したものである。

平成28年度については、宿泊施設の修繕など収益に直結する計画に集中的に資金投下をするとともに既存の経費については厳しく検証することで、財政立て直しのための環境整備を図ってきた。

#### 平成28年度 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで 単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	992	2,419	△ 1,427
特定資産運用益	1,040	5,052	△ 4,012
事業収益	185,976,701	183,393,944	2,582,757
受取補助金等収益	200,000	403,836	△ 203,836
受取会費・寄附金収益	36,518,593	48,514,407	△ 6,470,000
雑収益	11,514,094	262,509	11,251,585
経常収益計	234,211,420	232,582,167	1,629,253
(2) 経常費用			
事業費	238,413,817	234,990,535	3,423,282
管理費	12,439,599	9,339,586	3,100,013
経常費用計	250,853,416	244,330,121	6,523,295
評価損益等調整前	△ 16,641,996	△ 11,747,954	△ 4,894,042
当期経常増減額	△ 16,641,996	△ 11,747,954	△ 4,894,042
2. 経常外増減の部	0	0	0
(1) 経常外収益	333,970	0	333,970
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	333,970	0	333,970
他会計振替額	2,270,248	2,588,737	△ 318,489
一般正味財産期首残高	904,877,130	916,625,084	△ 11,747,954
一般正味財産期末残高	888,569,104	904,877,130	△ 16,308,026
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	1,512,000	△ 1,512,000
一般正味財産への振替額	3,475,593	9,001,407	△ 5,525,814
当期指定正味財産増減額	3,475,593	△ 7,489,407	4,013,814
指定正味財産期首残高	3,475,593	△ 7,489,407	△ 7,489,407
指定正味財産期末残高	0	3,475,593	△ 3,475,593
III 正味財産期末残高	888,569,104	908,352,723	△ 19,783,619

## 2. 平成28年度決算書について

平成28年度は、貸借対照表、正味財産増減計算書を中心に報告があった。資産合計は、13億2,671万円で昨年度より1億8,336万円の増加、負債合計は4億3,814万円で2億584万円の増加となり、正味財産合計は1,978万円の減少となった。事業収益で258万円の増加であった経費は管理委託費、減価償却費を中心に652万円の増加となり正味財産を押し下げている。会費の減少、管理委託費のホームページ制作・運用経費等による経費の増加、「Dining Hallやまゆり」の新築や既存施設大規模修繕により減価償却の増加がみられるが、財政基盤確立のための先行投資等が主な要因である。

公益法人会計の3原則(収支相償、公益目的事業比率、遊休財産)に関しては、基本的に守られている。

## 3. 平成29年度会費の減額申請について

全会一致で承認された。賛助会員の減額申請については、事務局が対応し、理事会報告とした。

## 4. 平成29年度第1回評議員会の日程について

6月15日(木)桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において16時30分より開催する事が承認された。

### 第10回評議員会報告(平成29年度第1回)

- 1.平成28年度事業報告承認
- 2.平成28年度決算書承認
- 3.任期満了に伴う理事の選任承認
- 4.評議員の退任および補充選任承認
- 5.任期満了に伴う評議員選任承認

平成29年6月15日開催

第10回(平成29年度第1回)評議員会が、平成29年6月15日(木)午後4時30分から6時15分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、評議員8名(評議員総数15名)、監事1名の出席および理事長、館長、専務理事陪席のもと開催され、全議案滞りなく承認された。

- 退任 評議員 : 土屋 恵一郎(明治大学学長)  
補充選任評議員 : 蓼沼 宏一 (一橋大学学長)  
任期満了評議員 : 石森 孝志 (八王子市長)  
再任 評議員 : 石森 孝志 (八王子市長)

### 第24回理事会報告(平成29年度第2回)

- 1.理事長、館長、専務理事及び常務理事の選定承認
- 2.理事長・館長・専務理事・常務理事の業務執行分担及び事務局長の選定承認
- 3.専務理事の報酬承認

平成29年6月15日開催

第24回(平成29年度第2回)理事会が、平成29年6月15日(木)午後6時30分から7時30分、桜美林大学四谷キャンパス(千駄ヶ谷)において、理事9名(理事総数11名)監事1名の出席のもと開催され、全議案滞りなく承認された。

## 1. 理事長、館長、専務理事及び常務理事の選定について

- 理事長 荻上 紘一 (元大妻女子大学学長)  
館長 鈴木 康司 (元中央大学学長)  
専務理事 外村 幸雄 (元中央大学広報室長)  
常務理事 白井 克彦 (元早稲田大学総長)  
全会一致で承認された。

## 2. 理事長・館長・専務理事・常務理事の業務執行分担及び事務局長選定について

- 1) 理事長  
荻上 紘一 公益財団法人大学セミナーハウス代表理事
- 2) 執行役員
  - ① 館長  
鈴木 康司 担当:セミナー業務・留学生支援業務
  - ② 専務理事・事務局長  
外村 幸雄 担当:総務、財務、広報、宿泊支援及び業務全般
  - ③ 常務理事  
白井 克彦 担当:会員・会費問題と千人会  
全会一致で承認された。



## 公益財団法人大学セミナーハウス 役員名簿

平成29年6月15日現在

### 理事(11名)

- 理事長 : 荻上 紘一 (元大妻女子大学学長)  
館長 : 鈴木 康司 (元中央大学学長)  
専務理事 : 外村 幸雄 (元中央大学広報室長)  
常務理事 : 白井 克彦 (元早稲田大学総長)  
理事 : 佐藤 東洋士 (桜美林学園理事長・学園長)  
上野 淳 (首都大学東京学長)  
小川 哲生 (明星学苑副理事長)  
大場 昌子 (日本女子大学学長代行)  
増田 正人 (法政大学副学長 常務理事)  
三木 義一 (青山学院大学学長)  
室伏 きみ子 (お茶の水女子大学学長)

### 監事(2名)

- 監事 : 冲永 佳史 (南科大学理事長・学長)  
光田 明正 (桜美林大学孔子学院名誉学院長)

### 評議員(16名)

- 評議員会議長 : 鷺山 恭彦 (東京学芸大学名誉教授)  
評議員 : 石森 孝志 (八王子市長)  
大井 孝 (一般社団法人日米協会理事)  
高祖 敏明 (上智学院理事長)  
小畑 秀文 (前国立高等専門学校機構理事長)  
篠田 節子 (作家)  
清家 篤 (前慶應義塾長)  
高石 道明 (元信州大学教授)  
蓼沼 宏一 (一橋大学学長)  
馬場 善久 (創価大学学長)  
日比谷 潤子 (国際基督大学学長)  
ピーター・マツキヤグ (国際教養大学副学長)  
村田 雄二郎 (東京大学大学院教授)  
八木 敏郎 (多摩信用金庫理事長)  
山本 眞一 (桜美林大学教授)  
吉岡 知哉 (立教大学総長)



## 2017年度主催セミナーの開催予定

### <大学生を対象としたセミナー>

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	募集定員
第2回吉笑ゼミ (東京大学院情報環・福武ホール)	9月2日(土)	立川吉笑(落語家)、森田真生(独立研究者)	180名
第6回EUセミナー	9月22日(金)～24日(日)	渡邊啓貴(東京外国語大学大学院教授)**、田中素香(東北大学名誉教授・中央大学経済研究所客員研究員)**、太田瑞希子(亜細亜大学専任講師)、蓮見雄(立教大学教授)**、中西優美子(一橋大学大学院教授)**、福田耕治(早稲田大学政治経済学術院教授)**、小久保康之(東洋英和女学院大学学部長・教授)**、武田健(東海大学講師)**、押村高(青山学院大学副学長・教授)*	80名
憲法を学問するⅡ	11月11日(土)～12日(日)	樋口陽一(東京大学名誉教授・東北大学名誉教授)、石川健治(東京大学法学部教授)、蟻川恒正(日本大学大学院法務研究科教授)、木村草太(首都大学東京法学系教授)、穴戸常寿(東京大学法学部教授)	80名
第3回吉笑ゼミ (京都大学百周年時計台記念館)	12月17日(日)	立川吉笑(落語家)、光嶋裕介(建築家)	180名

### <大学教職員を対象としたセミナー>

セミナー名・テーマ	開催日	講師・企画（運営）委員	募集定員
第7回新任教員研修セミナー	9月4日(月)～9月6日(水)	有賀清一(桜美林大学講師)、村山光子(明星学苑法人本部企画部課長)、佐藤順子(セミナーハウス・ファシリテータ)、菊地滋夫(明星大学副学長・教授)**、荒木晶子(桜美林大学教授)**、江夏由樹(帝京大学教授)**、北原和夫(東京理科大学教授)*、史 傑(電気通信大学教授)**	40名
第35回大学職員セミナー (法政大学市ヶ谷キャンパス) 大学職員の可能性を広げよう ー大学のグローバル化を牽引する職員を目指して(第1回)ー	7月14日(金)	宮下明大(立命館・東京キャンパス所長)、近藤清之(法政大学常務理事)*、青木加奈子(高崎経済大学研究グループ研究支援チーム)*、岩崎宏政(明治大学社会連携事務室事務長)*、大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)*、山本眞一(桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授)*	120名
第36回大学職員セミナー 大学職員の可能性を広げよう ー大学のグローバル化を牽引する職員を目指して(第2回)ー	11月24日(金) ～11月25日(土)	眞谷国光(早稲田大学国際部国際教育企画課兼留学センター・国際プログラムコーディネーター)、近藤清之(法政大学常務理事)*、青木加奈子(高崎経済大学研究グループ 研究支援チーム)*、岩崎宏政(明治大学社会連携事務室事務長)*、大久保陽造(中央大学入学センター入学企画課課長)*、山本眞一(桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授)*	40名

\*印は企画委員、\*\*印は企画委員と講師を兼ねる。

### <eラーニングによる教員免許状更新講習>

必修	セミナー名・テーマ	開催日	講師	募集定員
必修	教育の最新事情	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	薦澤元晴(早稲田大学大学院講師)、加藤彰彦(沖縄大学名誉教授)	2,000名
選択必修 選択	教育相談への期待と課題 ー不登校・いじめの克服をめざしてー	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	加藤彰彦(沖縄大学名誉教授)	2,000名
選択必修 選択	健やかな子どもの生と性を育むために ー性の人権、科学、道徳について考えるー	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	村瀬幸治(「人間と性」教育研究協議会幹事)	2,000名
選択必修 選択	情報教育の基礎と教育へのICT活用	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	有賀清一(桜美林大学講師)	2,000名
選択必修 選択	学校危機管理 ー3つのLackの視点からー	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	薦澤元晴(早稲田大学大学院講師)	2,000名
選択必修 選択	学校・家庭及び地域の連携及び協働	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	加藤彰彦(沖縄大学名誉教授)	2,000名
選択必修 選択	性 一人権と共生に関する学習～思春期の性と生を育てるー	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	村瀬幸治(「人間と性」教育研究協議会幹事)	2,000名
選択必修 選択	様々な教育課題をかかえる学校の現状と組織的対応	2017年4月16日(日) ～2018年3月31日(土)	大和久勝(特別ニーズ学会・日本生活指導研究所・全国生活指導研究会所属)	2,000名

必修	セミナー名・テーマ	開催日	講師	募集定員
選択	〈幼稚園教諭対象〉「聴く」教師・「待つ」教師へー日本聾話学校の教育が問いかけてくることー	2017年12月16日(金) ～2018年3月31日(土)	安積力也(元・日本聾話学校校長、元・恵泉女学園中学高等学校校長、元・基督教独立学園高等学校校長)	2,000名
選択	〈幼・小・中・高等学校教諭対象〉「問いを生きる」教師へー教員の自己吟味力を高めるためにー	2017年12月16日(金) ～2018年3月31日(土)	安積力也(元・日本聾話学校校長、元・恵泉女学園中学高等学校校長、元・基督教独立学園高等学校校長)	2,000名

## 2017年度開催セミナー

### ■ 第35回大学職員セミナー

主題：大学職員の可能性を広げよう  
ー大学のグローバル化を牽引する職員を目指して(第1回)  
日程：7月14日(金) 13時～17時  
場所：法政大学市ヶ谷キャンパス  
対象：大学の教職員

今年度の大学職員セミナーは、実際に大学のグローバル化を牽引している職員を講師に迎え、大学のグローバル化と職員の役割について考えます。その第1回は、立命館大学から宮下明大氏(立命館・東京キャンパス所長)を迎え、立命館大学および立命館アジア太平洋大学が取り組んできたグローバル化戦略と、そこで果たす職員の役割についての講演とディスカッションを行い、各大学の悩みを少しでも解消する場を設定します。

### ■ 第2回吉笑ゼミ

日程：9月2日(土) 13時～17時  
場所：東京大学本郷キャンパス(情報学環・福武ホール)  
対象：大学生及び一般社会人

「吉笑ゼミ。」とは、落語家の立川吉笑氏による独創的なセミナーです。大学入学を目前にした高校生や、学部の初年次生に向け、学ぶこと、考えることの楽しさや視点の多様性を体感してもらうために、立川氏が数学の独立研究者・森田真生氏をゲスト講師に迎え、講義形式ではない新しい形のセミナーを東京大学本郷キャンパスで行います。具体的には、森田氏に40分～50分の講義をしていただき、その講義で学んだことを即興的に立川氏にレポート提出よろしく落語として披露していただきます。最後に二人のトークや参加者との質疑応答も行います。

### ■ 第7回新任教員研修セミナー

日程：9月4日(月)～6日(水)  
場所：大学セミナーハウス  
参加対象：国公立大学で授業を担当する新任教員(年齢不問)

今、大学入試改革と呼応し、高校や大学での学びに「生徒・学生が主体性を持って多様な人々と協力して問題を発見し解を見出していくアクティブ・ラーニング」の導入が求められています。今回のセミナーでは、参加者及び講師との交流を通して大学教育にふさわしいアクティブ・ラーニングのあり方を探求し、それぞれの教育実践につなげることを目的としています。

### ■ 第6回EUセミナー

主題：未定  
日程：9月22日(金)～24日(日)  
場所：大学セミナーハウス  
対象：大学生・大学院生

昨年決定したBREXITがよいよ交渉を開始しました。今後この交渉をめぐる展開の中でEUはどのように揺れていくのでしょうか。そこにはEUそのものの本質が浮き彫りにされるでしょう。オランダとフランスではEU離脱派の勢力は押しとどめられました。しかしいずれの政権も安定しているとは必ずしも言い難い。9月にはドイツで国民議会選挙が予定されています。岐路に立つEUの現在をBREXITを切り口に様々な角度から議論します。

### ■ 憲法を学問するⅡ

日程：11月11日(土)～12日(日)  
場所：大学セミナーハウス  
対象：大学生(大学院生含む)及び社会人

憲法問題が政治的争点となっている以上、主権者の1人として、自分なりに納得がゆく程度までは勉強し、プロパガンダにだまされない批判的な眼を養いたい、そういう市民や学生の「本気」に応えるためのセミナーを昨年度に引き続き開催します。「憲法判例を読むこと」をめぐる樋口陽一／蟻川恒正の師弟対論に加えて、4つの分科会における講義・討論や参加者の報告を交えた盛りだくさんの内容です。とかく政治的・党派的な文脈で扱われがちな憲法。これを「学問する」とはどういうことか。大学生・大学院生のみならず一般市民にも門戸を開いて、講師たちとともにじっくりと考える機会にします。

### ■ 第36回大学職員セミナー

主題：大学職員の可能性を広げよう  
ー大学のグローバル化を牽引する職員を目指して(第2回)  
日程：11月24日(金)～11月25日(土)  
場所：大学セミナーハウス  
対象：大学の教職員

個々の大学に問われるのは「グローバル化政策」をどのように構築するかです。それには、キャンパスの中で学生に直に接している職員の役割が重要です。海外での学生リクルート活動やプログラム開拓における職員の役割も大きなものがあります。

本年度2回目に当たる本セミナーでは、早稲田大学留学センターの眞谷国光氏に基調講演をお願いし、具体的な大学グローバル化戦略を考えるワークショップを行います。早稲田大学は外国人留学生の迎え入れ数は日本一、また日本人学生の海外派遣数でもトップクラスを誇る大学です。海外大学と共同の教育プログラムも数多く持っています。プログラムの開発や運営面の工夫と課題について聞くことは多くの大学職員にとって有益なものになるはずで、「聞く」だけでなく、「考える」「ディスカッションする」「プレゼンテーションする」を盛り込んだ、中身の濃い研修を行います。

### ■ 第3回吉笑ゼミ

日程：12月17日(日) 13時～17時  
場所：京都大学吉田キャンパス(百周年時計台記念館)  
対象：大学生及び一般社会人

9月の東京大学でのセミナーに引き続き、大学入学を目前にした高校生や、学部の初年次生に向け、学ぶこと、考えることの楽しさや視点の多様性を体感してもらうために、落語家・立川吉笑氏が若手建築家・光嶋裕介氏をゲスト講師に迎え、講義形式ではない新しい形のセミナー(「吉笑ゼミ。」)を12月に京都大学で開催します。具体的には、光嶋氏に40分～50分の講義をしていただき、その講義で学んだことを吉笑氏に落語として披露していただきます。最後に二人のトークや参加者との質疑応答も行う予定です。



# 宿泊業務報告

## ◆年間の宿泊利用者数 31,759人

平成28年度の宿泊利用者数は31,759人で、前年度が31,309人でしたので、前年度と比較して450人の増加でした。

上期は、19,298人(前年18,140人、前年比106.4%)で、1,158人の増加となりました。利用者は全ての区分で増加しました。(内訳:会員校1.3%、一般校13.9%、社会人7.4%)

下期は、12,461人(前年13,169人、前年比94.6%)と、前年度と比較して708人の減少となりました。主な要因は、会員校の利用減少によります。年間では前年比で会員校93.8%、一般校111.1%、社会人107.4%になりました。

29年度は一般校、賛助会員、社会人の利用を促し、全体での利用人数及び売上げの増加を図りたいと思います。

\*主催セミナーは会員校に含む

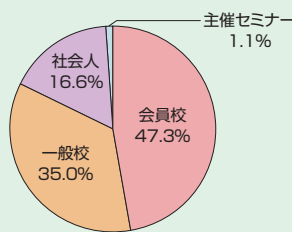
## ◆区分利用状況 平成28年度

宿泊延べ利用人数全体の占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

<表1> 宿泊延べ人数表

年度	平成28年度		平成27年度	
	宿泊延べ人数	構成比	宿泊延べ人数	構成比
会員校	15,044	47.3%	16,109	51.5%
一般校	11,116	35.0%	10,009	32.0%
社会人	5,258	16.6%	4,894	15.6%
主催セミナー	341	1.1%	297	0.9%
合計	31,759	100.0%	31,309	100.0%

<図1> 利用区分構成比



利用区分構成比率は、会員校で前年比▲4.2ポイント、一般校+3ポイント、社会人+1.0ポイント、主催セミナー+0.2ポイントになりました。

## ◆宿泊の年間稼働率は31.6%

28年度の営業日数は360日で、宿泊室(宿泊定員279人)の年間平均稼働率は31.6%でした。

尚、ご参考までに利用の多かった協力会員校を紹介します。

<表2> 協力会員校利用上位10校

● 宿泊延べ人数

1	首都大学東京	2,646
2	創価大学	1,185
3	明治大学	985
4	中央大学	926
5	早稲田大学	837
6	法政大学	699
7	東洋大学	553
8	帝京大学	535
9	上智大学	385
10	国際基督教大学	346

● 利用件数

1	首都大学東京	62
2	明治大学	29
3	中央大学	28
4	早稲田大学	23
5	創価大学	19
	帝京大学	19
	法政大学	19
8	青山学院大学	12
	上智大学	12
10	桜美林大学	10
	電気通信大学	10
	東京学芸大学	10
	東洋大学	10

最新の宿泊プランは、ホームページをご覧ください。

# 広報より



大学セミナーハウスのご紹介

大学セミナーハウスのご利用についてわかりやすくご案内する「FANBOOK」を発行しました。

インスタ映えする撮影スポットなど楽しい情報が盛り沢山。ぜひ手にとってみてください。



今季節、「Dining Hallやまゆり」では、屋外のテラス席がおススメです。緑に囲まれて、富士山も見える、ちょっとリゾート感のお食事タイムはいかがですか？

夕食は、リーズナブルな料金でありながら華やかな懇親会のお料理をご検討ください。合宿幹事さんを応援します！



留学生会館では、入居者を募集中です。詳細はホームページ「留学生支援」をご覧ください。短期留学の方向けの宿泊プランもございます。

留学生の受け入れ予定がある先生方からのお問い合わせもお待ちしております。



セミナーハウス・ニュース No.192

発行 = 公益財団法人 大学セミナーハウス  
2017年7月20日発行

発行人 = 鈴木康司 発行部数 = 2,000部  
編集 = 大学セミナーハウス 総務グループ  
制作 = ユニバーサルプロジェクト株式会社